

第3回「おいしい ふくしま いただきます！」 キャンペーンを実施しました

おいしいふくしま
いただきます
Oishii Fukushima Itadakimasu



<開催趣旨>

いわき産農産物の魅力やGAP※（生産工程管理）を消費者へ紹介するためのキャンペーンを開催しました。

※GAP（ギャップ：Good Agricultural Practice）とは、農産物の生産工程を記録・改善していくことで、より安全・安心な農産物を消費者へ届けるための取組のことです。

1 日時

令和2年11月7日（土）午前10時～午後15時

2 場所

21世紀の森公園 いわきドリームチャレンジ2020会場内
（いわき市常磐湯本町上浅貝110-33）



来場者に認証GAPについて説明する様子



プレゼントをお渡しする様子

3 内容

秋空の快晴の下、21世紀の森公園（いわきドリームチャレンジ2020会場内）において、認証GAPの取組や浜通りの復興状況のパネルを展示して、来場者に紹介するイベントを実施しました。

県産農産物に対する意識調査や認証GAPへの理解促進などを目的としたアンケート調査を実施し、ご協力いただいた方にGAP認証のいわき産新米・ミニトマトなどをプレゼントしました。また、プレゼントしたミニトマトの生産者である「（株）あかい菜園」さんから認証GAPの取組を説明し、来場者も真剣に耳を傾けていました。

今回のイベントは、いわき市の協力の下、相双農林事務所との合同開催、さらに隣接ブースでは県環境保全農業課による「ふくしま。GAPチャレンジスープ」の試食など、関係機関が連携して認証GAPをPRしました。

なお、認証GAPに関するアンケート調査の結果、認証GAPを知っている方が全体の約34%、GAPという言葉は聞いたことがある方が約33%、GAPを知らない方が約33%でした。当所では引き続き、関係機関、団体等と連携しいわき産農産物や認証GAPのPRに取り組んでまいります。